



AP の再送信間隔および再試行回数の設定

- [AP 再送信間隔および再試行回数の設定について, 1 ページ](#)
- [アクセス ポイントの再送信間隔と再試行回数の制約事項, 1 ページ](#)
- [AP の再送信間隔と再試行回数の設定 \(GUI\) , 2 ページ](#)
- [アクセス ポイントの再送信間隔と再試行回数の設定 \(CLI\) , 2 ページ](#)

AP 再送信間隔および再試行回数の設定について

コントローラおよび AP は、信頼性のある CAPWAP 転送プロトコルを使用してパケットを交換します。各要求に対して、応答が定義されています。この応答を使用して、要求メッセージの受信を確認します。応答メッセージは明示的に確認されません。したがって、応答メッセージが受信されない場合は、再送信間隔後に元の要求メッセージが再送信されます。最大再送信回数が過ぎても要求が確認されないと、セッションが終了し、AP は別のコントローラに再アソシエートされます。

アクセスポイントの再送信間隔と再試行回数の制約事項

- 再送信間隔と再試行回数の両方とも、グローバルと特定のアクセス ポイント レベルで設定できます。グローバル設定では、これらの設定パラメータがすべてのアクセス ポイントに適用されます。つまり、再送信間隔と再試行回数は、すべてのアクセス ポイントに均一になります。また、特定のアクセス ポイント レベルで再送信間隔と再試行回数を設定すると、値はその特定のアクセス ポイントに適用されます。アクセス ポイント固有の設定は、グローバル設定よりも優先されます。
- 再送信間隔および再試行回数は、メッシュ アクセス ポイントには適用されません。

AP の再送信間隔と再試行回数の設定 (GUI)

再送信間隔と再試行回数は、すべての AP にグローバルに設定することも、特定の AP に設定することもできます。

ステップ 1 コントローラ GUI を使用して、再送信間隔、および再試行回数をグローバルに設定するようにコントローラを設定するには、次の手順を実行します。

- a) [Wireless] > [Access Points] > [Global Configuration] の順に選択します。
- b) [AP Transmit Config Parameters] セクションから、次のいずれかのオプションを選択します。
 - [AP Retransmit Count] : アクセス ポイントからコントローラに要求を再送信する回数を入力します。このパラメータには、3 ~ 8 の値を指定できます。
 - [AP Retransmit Interval] : 要求の再送信から次の再送信までの時間を入力します。このパラメータには、2 ~ 5 の値を指定できます。
- c) [Apply] をクリックします。

ステップ 2 特定のアクセスポイントに対して、再送信間隔、および再試行回数を設定するようにコントローラを設定するには、次の手順を実行します。

- a) [Wireless] > [Access Points] > [All APs] の順に選択します。
- b) 値を設定するアクセスポイントに対応する [AP Name] リンクをクリックします。
[All APs > Details] ページが表示されます。
- c) [Advanced] タブをクリックして、[Advanced Parameters] ページを開きます。
- d) [AP Transmit Config Parameters] セクションから、次のいずれかのパラメータを選択します。
 - [AP Retransmit Count] : アクセスポイントからコントローラに要求を再送信する回数を入力します。このパラメータには、3 ~ 8 の値を指定できます。
 - [AP Retransmit Interval] : 要求の再送信から次の再送信までの時間を入力します。このパラメータには、2 ~ 5 の値を指定できます。
- e) [Apply] をクリックします。

アクセスポイントの再送信間隔と再試行回数の設定 (CLI)

再送信間隔と再試行回数は、すべてのアクセスポイントにグローバルに設定することも、特定のアクセスポイントに設定することもできます。

- 次のコマンドを入力して、すべてのアクセス ポイントにグローバルに再送信間隔と再試行回数を設定します。

config ap retransmit {interval | count} seconds all

interval パラメータに有効な範囲は、3 ～ 8 です。 **count** パラメータに有効な範囲は、2 ～ 5 です。

- 次のコマンドを入力して、特定のアクセス ポイントに再送信間隔と再試行回数を設定します。

config ap retransmit {interval | count} seconds Cisco_AP

interval パラメータに有効な範囲は、3 ～ 8 です。 **count** パラメータに有効な範囲は、2 ～ 5 です。

- 次のコマンドを入力して、すべて、または特定の AP に設定した retransmit パラメータのステータスを表示します。

show ap retransmit all



(注) retransmit 値と retry 値は、メッシュ モードのアクセス ポイントに設定できないので、これらの値は N/A (適用外) として表示されます。

- 次のコマンドを入力して、特定のアクセス ポイントに設定した retransmit パラメータのステータスを表示します。

show ap retransmit Cisco_AP

